

# ふれあい名古屋



【特集】福祉クローズアップ

## サッカーをベースに多彩な社会貢献活動を展開 名古屋グランパスの「ホームタウン活動」

© N.G.E.

名古屋グランパス スタッフとグランパスくんファミリー with な～や

### CONTENTS

社協活動最前線 港区社会福祉協議会	4
想いをつなぐリレートーク / ながら体操	5
ほっとはあとコーナー	6
● 旬ボラに行く！ 自然を愛するすべての人へ ～四季折々を通じて豊かな自然を楽しむ～	
● ボランティア・NPOウォッチング すみれの会 / 東区ボランティアサークルどろんこ	
● きらっとボランティア・NPOらいぶ 「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」案内ボランティア	
● 地区のオススメのボランティア 点訳ボチの会	
からだに優しいいきいきレシピ / プレゼントつきクイズ	10
インフォメーション	11
ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介	12

今回の特集は、  
名古屋グランパスの  
「ホームタウン活動」などに  
ついてお話を伺いました。  
関連記事：2・3ページ  
表紙写真に  
な～やがいます



な～や



# サッカーをベースに多彩な社会貢献活動を展開 名古屋グランパスの「ホームタウン活動」

名古屋グランパスはJリーグ(日本プロサッカーリーグ)の創立時から加盟しているプロサッカークラブです。Jリーグは1993年に10チームで開幕し、現在は58チームが加盟。Jリーグに所属するチームには、本拠地で地域社会と一体となってクラブづくりを行い、サッカーの普及、振興に努める「ホームタウン活動」が義務付けられています。

現在は多くの企業が社会貢献活動(CSR活動)としてボランティア活動、環境を守る活動、寄付などに取り組んでいますが、ホームタウン活動はJリーグのCSR活動と言えます。

名古屋市社会福祉協議会が名古屋市と一体的に策定した「なごやか地域福祉2020」という計画の中で、企業を地域福祉の担い手として、期待を込めて位置付けています。名古屋グランパスが行う多岐にわたるホームタウン活動の内容、企業や行政との連携などについて、広報コミュニケーション部の西村惇志さんにお聞きしました。

## ホームタウンは愛知県全体

グランパスのホームタウンは、名古屋市、豊田市、みよし市を中心とした愛知県全体です。地域の一員として、より豊かな社会を形成する、地域市民として環境を守るという視点から、地域・社会貢献活動に取り組んできました。

ホームタウン活動は、主に「サポートタウン活動」「地域の子どもたちとのふれあい」「環境への取り組み」「市民の健康支援活動」の4つを柱としています。2020年から新型コロナウイルス感染拡大のため対面での活動は減りましたが、オンラインなど形を変えて続けています。

「サポートタウン活動」は、愛知県商店街振興組合連合会との連携で、各地域の商店街の活性化を目指しています。加盟する25の商店街にグランパスのフラッグを掲げ、クラブのイベントに合わせたセール開催、 Mascott を派遣してお祭りを盛り上げるなどの活動を展開しています。最近ではAR(拡張現実)を活用したスタ

ンプラリーなど、先端技術を取り入れた企画にも取り組んでいます。

「地域の子どもたちとのふれあい」は、スポーツを通して子どもたちに夢と感動を伝えることを目的に、サッカー教室、選手の学校訪問、親子観戦招待などを行っています。

## SDGs への4つの取り組み

「環境への取り組み」は、現在、「持続可能な開発目標(SDGs)」に付随する活動に取り組んでいます。SDGsの17の目標(ゴール)のうち、クラブが重点項目として定めたのは4つ。3の「すべての人に健康と福祉を」、4の「質の高い教育をみんなに」、11の「住み続けられるまちづくりを」、17の「パートナーシップで目標を達成しよう」です。

3の「健康」は、管理栄養を学んでいる学生、サッカーをしている子どもやその保護者を対象に、グランパスの管理栄養士が食育の大切さに

ついて講演をしています。

4の「教育」は、グランパスの選手や指導者（コーチ）、社員が学校に赴き、それぞれの立場から講演を行っています。華々しい活躍をしている選手も、けがをしたりメンバーに選ばれなかったりという不遇の時代があったことを伝え、子どもたちに挑戦することの意義、大切さを学んでもらいます。「ホームゲームを運営するためにたくさんのスタッフが働いています。指導者やサッカービジネスに携わる社員がどんな仕事をしているのかを話すことも」と、キャリア教育の側面もあると西村さんは言います。

11の「まちづくり」は、名古屋市消防局と連携し、スタジアムやSNSでハザードマップや避難場所、備蓄品について啓蒙しています。

ホームタウン活動の多くは、クラブ単独ではなく企業や行政とタッグを組んで行います。そこで重要なのが17の「パートナーシップ」で、「グランパスは企業や行政、商店街、サポーターなどさまざまなステークホルダー（利害関係者）と関わりがあるのが特色。連携することで、活動をより多くの人に知ってもらうきっかけになればと思います」と西村さん。



## フードドライブ、赤い羽根共同募金にも協力

3の「健康」に関連して、NPO 法人セカンドハーベスト名古屋と社会福祉法人愛知県母子寡婦福祉連合会と連携し、「フードドライブ（余剰食品寄付）」も行っています。試合当日サポーターから寄せられた食品を一人親家庭へ送る取り組みですが、梱包や発送作業までを愛知県母子寡婦福祉連合会やグランパスボランティアの皆さんと一緒にしています。2022年3月の3回目には140組の家庭に送付しましたが、「開けた瞬間の子どもの笑顔が忘れられない」など毎回お礼の手紙をもらい、選手やスタッフの励みになっているそうです。

また、「赤い羽根」にも協力。元日本代表の玉田圭司さん、丸山祐市選手らが啓発ポスターのモデルになったり、愛知県共同募金会と一緒に募金活動を行ったりしてきました。募金は高齢者、障がい者、子どものための福祉活動、コ

ナ禍での福祉活動、災害の被災者支援活動などに活用されています。

## 質を高め、今後も継続したい

2022年、クラブは30周年を迎え、CSR活動のリーディングカンパニーとして地元で認識されています。「最近ではCSR活動やSDGsに取り組もうとしている企業が多く、グランパスと連携して何かできないかとお声掛けいただくことが増えてきました。クラブが関わることで行政や企業、団体の皆さまにとってもより良い活動になればと思いますし、クラブがハブとなることでそうした活動の輪が広がると良いです」と西村さん。

多岐にわたるグランパスのホームタウン活動は現在、年間600回に及ぶそうです。今後の抱負として、「現在行っている一つ一つの活動の質を高め、いろいろな方の力を借りながら継続していきたい」と話していただきました。



株式会社名古屋グランパスエイト  
広報コミュニケーション部  
ホームタウングループ

西村 惇志さん



## 名古屋グランパス 森下選手コメント

今年の6月にホームタウンにある小学校を訪問しました。プロになって2年半。初めての地域貢献活動。校長先生からは「子どもたちの目がいつもと違ってキラキラしていました」とありがたいお言葉を頂きました。一方で、

私も生徒からパワーをもらっていました。まさしくGIVE & TAKE。サッカー界という殻を破って、社会に一步踏み出したことで、「グラウンドの外でも自分のやれることはたくさんある」という事に気が付くことができました。このGIVE & TAKEの輪をもっと広げられるように、積極的に活動していきたいと改めて決心することができました。

### ●連絡先

株式会社名古屋グランパスエイト  
広報コミュニケーション部  
E-mail : Hometown@nagoya-grampus-eight.co.jp

Vol.50

今回は

## 港区社会福祉協議会

港区社会福祉協議会

## 困窮者へ確実に食を届けたいー町内と連携フードパントリーへ「子ども食堂 わ」

## 企業のフードロスを利用して子ども食堂をスタート

子ども食堂「わ」は2019年9月にスタートしました。韓国料理店「Café & Rest わ」の店主、二村ジョンソンさんが地域の民生委員より勧められたのがきっかけです。

その後、港区社協が開催する「子ども食堂実践者交流会」に参加した人材派遣会社社長の中田千代さんが、子ども食堂「わ」を知り、運営に協力することになりました。

二村さんは以前からボランティア活動を活発に行っており、高齢者サロンも主催。社協の「オーラルフレイル予防教室」などにも協力してきました。「自分が知っている人が幸せになってほしいという思いでやっている。周りの人がお互いに助け合えるのが一番」というのが活動の原動力です。中田さんは取引のある食品メーカーや食品商社などから大量の食材が廃棄されることに以前から心を痛めていました。「特に一次産業の人が丹精込めて作ったものが、規格に合わないからと捨てられてしまうのはもったいない」と、再利用、有効活用できる場を探していました。

「わ」はその食材や二村さんが畑で作った野菜などを使い、ボランティアさんたちと食事を用意。第3土曜日に子どもは無料、大人は300円（子ども同伴は200円）で提供を始めました。20～30食から始めた食堂は徐々に地域の人に知られるようになり、70食

まで増えましたが、新型コロナの流行で、2020年1月で休止。会食形式の存続は難しいため、5月からはお弁当を渡す形で再開。現在は毎月80食を2カ所まで提供しています。

## 確実に渡せるフードパントリーに活動をシフト

しかし、困窮している親子は恥ずかしがって来ない一方、余裕のある家庭でも「家に子どもがいる」とお弁当を持ち帰る大人もいて、もどかしさを感じた二村さんと中田さんは、お弁当ではなく食材を直接渡すフードパントリーの形に移行することを決意。お弁当は年内いっぱい終了し、フードパントリーは「愛知生活応援プロジェクト」の名前で、まずは2カ所から始めることにしました。

地域で本当に困っている人を把握している町内会長や自治会長に声をかけ、困窮者に食材がピンポイントで届くような態勢を整備中で、来年からは配布場所（地域）を5カ所程度に増やしたいとのことでした。

また、これとは別に「わ」は7月から、子ども食堂へ食の支援を行う一般社団法人「愛知子ども応援プロジェクト」のハブステーション（配布拠点）に登録。近所の子ども食堂が申込みした食材等支援品の受け渡しをする中継地点としての活動も始めています。

港区社協からは「先日、子ども食堂実践者交流会に港区の相談支援機関にも参加してもらった。困っている人がいた場合など、互いに必要な支援や相談先につなげられるといい」と、今後の活動が広がることへの期待を話していただきました。



子ども食堂 わ代表  
二村ジョンソンさん  
中田千代さん

想いをつなぐ

リレートーク 50



社会福祉法人ゆたか福祉会  
ゆたか作業所 所長 吉田 博さん

こんにちは、ゆたか作業所の所長として今年で7年目を迎えました。

1969年に誕生したゆたか作業所は「地域の中で障害のある方たちが活動」という発想もなかった当時から、どんなに重い障害があっても「働く」ことを通して、地域とつながり、人として頼りにされ、ゆたかな人生を創っていくことをずっと大切にしています。学生時代、ゆたか福祉会の事業所をボランティア訪問し、障害のある「仲間たち」がイキイキと働く姿に感銘し、私も「その一員になりたい」と思い入職し、かれこれ37年がたちます。

今もゆたか作業所は地域の皆さんに支えられ、事業を行っています。その一つに他にはない「道徳学区子ども会福祉学級」という活動があります。「子ども会の児童が障害者施設との交流や体験実習を通して障害者福祉の理解を深める活動」として35年以上続いている歴史があり、作業所として積極的に参加しています。子ども会役員や社協の皆さんとの相談を通し、作業1日体験やゲーム等の障害を持つ仲間たちとの交流や学習企画を行い、学齢時からの実体験を通し全ての人にとってやさしい地域づくりを進める一翼を担ってきています。福祉学級含め地域との活動はコロナでこの2年間ほぼ休止状態ですが、今後も地域とのつながりを大切にした活動を進めていきます。

今回は

あいうえおハウス

施設長

儀保 高雄さんへバトンタッチ



椅子に座って

## ながら体操

仕事や家事の合間に、「椅子に座りながら」できる体操です。

### 第17回 下腹を引っ込める

腹筋運動のニータッチェスト（膝を胸に近づける）で、下腹を引き締めます。

- 1 安定した椅子に浅く腰をかけます。座面の後方をしっかりとつかみます。



- 2 両足を伸ばして、少し浮かせます。



- 3 膝（ニー）を上げて、ゆっくりと胸（チェスト）に近づけます。



- 4 背筋を丸めて、腹筋の下部に効いていることを意識します。2~4を10回繰り返します。



# 旬ボラを行く!



本号のテーマ

## 自然を愛するすべての人へ ～四季折々を通じて豊かな自然を楽しむ～



実りの秋、名古屋の誇る東谷山フルーツパークをお訪ねしました。園内で活躍するボランティアグループの皆さんを取材させていただきました。

〈インタビュー：旅する食いしん坊 YM〉

### ●好きなことを、好きなときに、好きなだけ

ボランティア活動の極意を語ってくださったのは、世界の熱帯果樹温室のガイドボランティア・リーダー役を務める武藤さんと職員の中島さん。養成講座修了を義務づけたり、当番制にしてみたり、ボランティア活動推進はともすれば堅い雰囲気は漂いがちですが、ここフルーツパークはひとと味違うと感じました。無理なく参加できるように個々の都合を大切に活動した活動を心がけ、お勉強ムードあふれる『養成講座』というネーミングをやめて、『ボランティア体験会』にするなど、様々な工夫がこらされています。

### ●「好き」なことができる幸運

トロピカルフルーツが好き！剪定作業が面白い！美しい花壇に仕上がるのがうれしい！お客様に自慢のシダレザクラを愛でただけなのは幸せ！お会いしたボランティアさんたちに共通していたのは「好きなことでボランティア活動ができてうれしい」という喜びの表情でした。

果樹剪定中のボランティアさんにお話を伺いました。好きな園芸の知識を深められることをフルーツパークボランティアの魅力としてあげる方が何人もいらっしゃいましたが、専門家の指導を受けながらの、和気あいあいのやりとりが本当に楽しそうでした。

温室を実際にガイドしていただきました。大人の頭ほどもある果実をつけたヒョウタンノキにびっくりしていると、「この実は、触れたところから腐ってしまうんですよ」と説明が。園内で栽培展示中の果実は、落ちているものも含めてすべて観賞用です。「触れたり試食したりしないでくださいね」とのことでした。



温室ガイドボランティア

### ●もっと仲間がほしい！

既出の武藤さんは「ボランティアは色々な人達に出会える楽しい活動です。ぜひ新しい人にきてほしい」と熱心に話してくれました。「果樹栽培管理ボランティア」「温室ガイドボランティア」「さくら守りボランティア」「花づくりボランティア」の4団体があり、現在約50人のボランティアさんが活動中。平日昼間の活動が中心となるため、中高年ボランティアが大半を占めているそうです。フルーツパークに関心を持つ世代の幅を広げるためには、若いボランティア仲間を増やすことも大切だと感じました。先輩ボランティアの皆さんが、ボランティア体験会に参加された方に活動の魅力をどう伝えるかに期待がかかっているのではないのでしょうか。

### ●東谷山フルーツパークから読者の皆さんへ一言 PR

都市農業振興を図り、市民の皆さんに憩いの場を提供するために整備された、フルーツがテーマのユニークな農業公園です。見て学ぶだけでなく、フルーツパークマルシェやレストランで実際にフルーツを購入したり味わったりすることもできます。季節のフルーツの収穫体験など多彩なイベントや四季折々の自然が皆さんをお待ちしています！

#### 【お問い合わせ】

名古屋市東谷山フルーツパーク  
守山区大字上志段味字東谷2110  
電話：052-736-3344  
FAX：052-736-2660



果樹栽培管理ボランティア

# ボランティア・ NPOウォッチング

団体の活動内容等を紹介するコーナーです。

ほっとはあと  
コーナー

ふれあい名古屋では、地域の人、ボランティアや企業、学校関係者などが読みたいと思うボランティア情報発信を目的に、ほっとはあとボランティア情報発信を目的に、ほっとはあとボランティアクラブ（ボランティアの方々）と本会ボランティアセンターの協働編集（取材・執筆）による「ほっとはあとコーナー」を掲載しています。

## すみれの会

### 【団体概要・活動内容】

中村区社会福祉協議会が開催したボランティア入門講座後、受講生の有志で昭和62年8月ボランティアグループ「すみれの会」が結成され、今年で35年目になります。毎月第一火曜日午前10時からの例会で1カ月の活動予定を決めています。通常は主として、地域の施設の高齢者を対象に喫茶、シーツ交換、お話し相手、行事のお手伝いをしています。

現在はコロナ禍の為、デイサービスセンターのお手伝いと通院介助の活動をしています。

会員も高齢になってきましたが、皆さんいきいきと活動しています。



通院ボランティアの様子

### 【活動に参加している方の思い】

「すみれの会」も長い年月の間には、山あり谷あり、良い時もそうでない時もありました。続いているのは、各々がボランティアであるという自覚を持っていることにあると思っています。シルバー世代の様々な知恵を発揮して、数多い仕事を成し遂げています。依頼者の方に喜んでいただけることが、我が事の喜びとしてこれからも励んでいきたいと思っています。

### 【お問い合わせ】

中村区社会福祉協議会（ボランティア担当）  
TEL：052-486-2131  
FAX：052-483-3410  
E-mail：n-fukushi@nakamura-shakyo.jp

## 東区ボランティアサークルどろんこ

### 【団体概要・活動内容】

「東区ボランティアサークルどろんこ」は、東区の高岳児童館の一室を拠点としています。主な活動は、子ども会のジュニアリーダー養成講習会や高岳児童館の行事へのメンバーの派遣です。

子ども会への派遣では、小学5・6年生のジュニアリーダー養成のための企画や運営、中学生のジュニアリーダーへの指導等を行っています。

また、高岳児童館の派遣では児童館のお祭りで、ゲームの企画・運営等、様々なイベントのサポートをしています。



飯盒にお米を入れるのを見守っています。



野菜の切り方を指導しています。

7月に開催されたデイキャンプの様子

### 【活動者からのメッセージ】

昨年度までコロナ禍によりボランティア活動がほぼストップしてしまいましたが、今年度から子ども会や高岳児童館への派遣ができるようになりました。久しぶりに子ども達とレクリエーションゲームやキャンプなどで交流をする中で、みんなの笑顔を見ることができて、とても嬉しく、元気をもらいました。

「どろんこ」では、一緒に楽しく活動してくれる高校生以上のメンバーも募集しています。

### 【お問い合わせ】

名古屋市高岳児童館  
東区泉2丁目28-5  
TEL：052-932-1718  
FAX：052-935-1025

# きらっと ボランティア・NPOらいぶ

リレートーク 第8回目は「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」の案内ボランティアとして活動をしている広瀬きみこさんです。



広瀬さん

## ● ボランティア活動のきっかけは「愛知万博」

平成17年に開催された愛知万博での活動から、広瀬さんのボランティア活動がスタートしたそうです。その時に登録したNPO法人 愛・地球博ボランティアセンターからの案内に、「愛知・名古屋 戦争に関する資料館」(以下 資料館)のオープンに伴うボランティア募集があり、現在の活動を開始することになったそうです。

## ● 活動内容

広瀬さんは、資料館にて展示施設の案内ボランティアとして7年間活動し、現在は月2回程度活動をしているそうです。案内ボランティアは15人おり、ボランティアを募集中とのこと。ボランティア活動をしていると、ご自身の戦争体験を話される来館者の方もいるそうです。

## ● 平和に対する思い&来館者へのメッセージ

「戦争当時、食べる物も住む場所もない、様々な苦勞をされた人たちの頑張りがあって、今の平和な暮らしがあるんだと思っている。人生の先輩方の努力への感謝の気持ちを持ち続けたい。若い人が戦争当時のことに関心をもってくれることがありがたい」と広瀬さん。

また、「コロナ禍になってから外国人の来場者は全くなくなってしまったが、国内の遠方から来ていただける方もいる。今後は、もっと多くの人に来館してもらえるとありがたい。年に3回展示品を入れ替えるので、ぜひ何度も資料館に足を運んでほしい」とのこと。



活動の様子

## ● ボランティア活動への思い

広瀬さんは、他にも環境保全活動や、芸術関係のボランティア活動など4つのボランティア活動をしているそうです。「全部やるのが違って楽しい。ひと月の半分はボランティア活動をしている。社会とのつながりもできるし、ボランティアに行くといろんなことが勉強になり、知識も増える。活動で心がけていることは「細く長くでいいので、楽しく続ける」です」とのことです。

## ● 愛知・名古屋 戦争に関する資料館

戦争に関する実物資料の展示を行うことにより、戦争体験を次の世代に引き継ぎ、戦争の残した教訓や平和の大切さを県民が学ぶことで、平和を希求する豊かな心を育み、平和な社会の発展に寄与することを目的としています。

## ● NPO法人 愛・地球博ボランティアセンター

愛・地球博ボランティアセンターでは、今回の資料館でのボランティア活動以外にも、清掃や環境教育などの環境に関する活動や、スポーツに関する活動、愛・地球博の理念に関連した活動、愛・地球博記念公園(モリコロパーク)や瀬戸万博記念公園(愛・パーク)での活動など様々な活動をしています。

### 【お問い合わせ】

愛知・名古屋 戦争に関する資料館

中区丸の内三丁目4番13号 愛知県庁大津橋分室1階  
(地下鉄名城線「市役所」4番出口から南へ徒歩約5分)

TEL : 052-957-3090 FAX : 052-957-3091

ホームページ : <https://www.pref.aichi.jp/kenmin-soumu/chosakai/>

NPO法人 愛・地球博ボランティアセンター

TEL : 070-8307-0351

FAX : 052-308-4014

ホームページ : <https://vol-expo2005.jpn.org/top/index.php/contact/>

各区社協の  
職員に聞いた

# 地区のオススメのボランティア

第8回

## 点訳ポチの会



長江さん

緑区で点訳活動をしている長江まゆみさんから『点訳ポチの会』の活動について話を伺いました。

### ●『点訳ポチの会』とは

『点訳ポチの会』は、1991年に緑区で開催された点訳講習の受講者数名で立ち上げました。活動は、①点訳：依頼のあった書籍などの点訳、②点訳指導：点訳の仕方をレクチャー、③点字体験（普及啓発）：学校や地域で体験教室を開催、の3つが主です。

### ●点訳の奥深さ

点訳は、利用者（視覚障がいの方）の依頼に応じて活動しています。広報誌や参考書、新聞（人によってスポーツ面だったり、社会面だったり）、将棋の月刊誌なども点訳します。

『点訳ポチの会』の活動日は毎週月曜日です。ここでは、メンバーが各自の自宅で点訳してきた点字文章の校正を行っています。点訳と聞くと墨字（目の見える人が読み書きしている字）を点字に置き換えるだけの単純なイメージを浮かべる人もいますが、実は奥が深いのです。点字は基本的に全て仮名です。カタカナや漢字でメリハリがある文章は読みやすいですが、全て仮名だと混乱してしまうので、そうならないように気をつけています。特に複数の読み方がある漢字は要注意です。本当にこの読み方でいいのか点訳する人も校正する人も辞書を何回も確認して神経を注いで校正しています。

触って読む文字である点字の様々な規則を学ぶのに、かなりの期間がかかるようで、「文字を置き替え

るだけ」と簡単なイメージを持って来る方は、今まで何気なく使ってきた日本語の特徴に改めて気付き、驚くことも多いとか！

### ●まずは点字を読めるようになろう！

最近では点字も普及してきており、私たちの身の回りにたくさんあります。ですが、せっかく街中に案内表示などの点字があっても、適切な表現でなかったり、点字が逆さまになったりしているものもあります。

しかし、点字を読める人が少ないので、情報保障として不十分な点字があっても、それが大きな声にはならず、なかなか改善されないそうです。「点訳活動をする人が増えることよりも、まずは点字を読める人が増えてほしい。読める人が増えれば、街中の点字の誤りに気づき、改善のために指摘できる人が増えることになります。なにより、点字を読んで誤りに気づければ、言葉足らずな部分を教えてあげたりするなど、視覚障がいの方をサポートできる人が増えることにつながります」と長江さんは話してくれました。

『点訳ポチの会』は、学校や地域で点字体験教室を開いているそうです。点字の打ち方を覚えるだけでなく、上段で述べたような課題についても意識を向け、改善に向けて行動できる人が増えていくといいなと話を伺いながら感じました。

### ●これからについて

点字は視覚障がいの方にとっての情報保障です。30年以上の歴史を持つ『点訳ポチの会』はメンバーの高齢化や点訳環境の充実などの課題もある中、点字使用者が希望するものを読むことができるように、これからも現在の活動を継続していきたいと長江さんは笑顔でおっしゃっていました。



点訳活動（校正作業）の様子



長年活躍している点字プリンター

【お問い合わせ】

TEL：052-896-0673（窓口担当）

## ほっとはあとクラブメンバーのつぶやき

「人は変わるのか？」若いころから何度も自分の中で問い、考えてきたテーマです。皆さんの中でも考えたことがある方は多いかもしれませんね。この疑問について今現在の私がどう考えているかという、「自分自身を変えることはできる。しかし、自分以外の人の考え方や行動は変えることはとても難しい」です。

ただ、難しいだけで不可能だとは思いません。子どもの頃、親から言われた言葉でも、その頃はわからなかったけれど、大人になってから、あるいは親になってから理解できたものも少なくありません。そんなとき私はこう思います。「じゃあ、今日から考えを改めよう。人生はこれから」そう思って自分を励ましています。

シャオムー

からだに優しい  
いきいきレシピ



卵でとじて優しい口当たりに

## 高野豆腐とキノコの卵とじ

高野豆腐の主成分は「畑の肉」とも言われる大豆。良質な植物性タンパク質が含まれたヘルシーな食材です。この高野豆腐を秋の代表的な味覚、キノコと合わせて卵でとじました。

醤油は白醤油や淡口醤油など色の薄いものを使うと、素材の色が生きた仕上がりになります。キノコはお好みのものを。

材料(2人分)

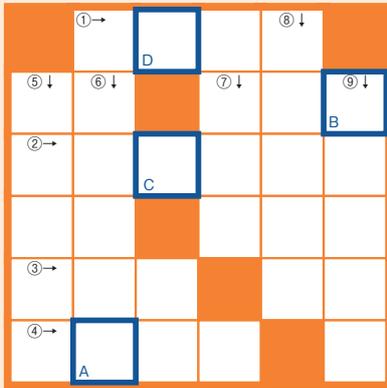
- 高野豆腐 2枚
- シイタケ 2枚
- シメジ 1/4袋
- エノキダケ 1/4袋
- ニンジン 1/4本
- 卵 2個
- 細ネギ 1本
- だし汁 300cc (調味料)
- 白醤油 大さじ1
- みりん 大さじ1
- 砂糖 大さじ1
- 塩 小さじ1/4



- 1 高野豆腐は袋の表示通り水か湯に漬けて戻し、水気をよく絞る。一口大に切る。
- 2 キノコは石づきを取り、食べやすい大きさに切る。ニンジンは厚さ1~2ミリの半月切りにする。
- 3 卵は溶いておく。細ネギは小口切りにする。
- 4 鍋にだし汁と調味料を入れて火にかけ、沸騰したら中火にして「1」を入れる。5分煮たら「2」を加え、さらに5分煮る。
- 5 溶き卵を「4」に回し入れ、半熟状になったら火を止める。器に盛って細ネギを散らす。

## プレゼントつきクイズ

クロスワードを解いて、色枠に入った文字をA~Dの順に並べると、何という言葉になるでしょう。



ヨコのカギ (小文字も大文字とします)

- ① 渋柿を乾燥させた食品
- ② p2-3. 名古屋グランパスが行っているのは「○○○○○○活動」
- ③ 男爵を英語で言うと
- ④ 姉妹。修道女

タテのカギ

- ⑤ 東海道五十三次の起点
- ⑥ p4. 子ども食堂に利用しているのは、企業の○○○○○
- ⑦ p8. リレートークに登場。「○○○作業所」
- ⑧ p11に掲載。「赤い羽根○○○○○募金」
- ⑨ すりつぶした枝豆を使った餅菓子

【応募要項】

郵便はがきに①問題の答え、②住所、③氏名、④「ふれあい名古屋」本号で興味のある記事と理由、本紙に対するご意見を書いて下記までお送りください。  
締切は2022年10月31日必着。  
〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17-1  
名古屋市社会福祉協議会 「ふれあい名古屋」係

【正解発表】

2023年1月号誌上にて発表。正解者の中から抽選で10名様に名古屋市総合社会福祉会館にて展示・販売中の授産施設製品の中から500円相当の品を差し上げます。当選者の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。個人情報について  
応募いただいた個人情報は賞品の発送および本紙の企画以外に利用したり、第三者には提供しません。

前回の答え

ところてん



社協からのお知らせ

赤い羽根共同募金へご協力をお願いします

今年も10月1日から全国一斉に募金運動が行われます。  
 皆さまからの寄付金は多様な福祉活動に活用させていただきます。  
 今年もどうぞご協力をお願いします。  
 なお、募金の使いみちは赤い羽根共同募金ホームページ「はねっと」  
 (https://hanett.akaihane.or.jp/hanett/pub/home.do) で紹介しています。



ホームページはねっと

©中央共同募金会

お問い合わせ 名古屋市共同募金委員会  
 TEL : 052-911-3192 FAX : 052-913-8553

「令和4年度つながり・支えあおう地域福祉のすゝめ」開催のご案内 【参加費無料・要申込】

「多様なつながりを生かした地域の支えあい」をテーマに基調講演や地域福祉活動の実践者等による実践報告を開催します。  
 日時：10月25日（火）午後2時～午後4時  
 会場：名古屋国際会議場 白鳥ホール（名古屋市熱田区熱田西町1番1号）  
 ※集合型とオンライン（Youtube ライブ）の併用で開催いたします。  
 申込締切日：令和4年10月7日（金）定員360名



前回の様子

お申込み・お問い合わせ 名古屋市社会福祉協議会 地域福祉推進部  
 TEL : 052-911-3193 FAX : 052-917-0702  
 E-mail:chiiki-s2@nagoya-shakyo.or.jp



開催案内・参加申込書

障害者差別相談センター 企業向けセミナーのご案内 【参加費無料・要申込】

民間事業者に求められる合理的配慮の提供を弁護士による説明と障害当事者講師による視点でわかりやすく解説します。  
 日時：11月21日（月）午後2時～午後4時  
 形式：ハイブリッド形式（集合型とオンライン型を同時に行うセミナー）  
 会場：総合社会福祉会館 大会議室（北区清水4-17-1 7階）  
 対象：市内に事業所を有する小売業の経営者、人材育成・教育担当者、従業員等  
 定員：50名（来場参加者）  
 申込方法：令和4年11月4日（金）までに申込フォーム（セミナーお知らせに掲載）にて申込



セミナーお知らせ

お問い合わせ 名古屋市障害者差別相談センター TEL : 052-856-8181 FAX : 052-919-7585  
 E-mail : inclu@nagoya-sabetsusoudan.jp

陶芸体験教室 参加者募集

日時：11月18日（金）午前10時～正午  
 対象：市内在住で50歳以上の陶芸初心者  
 定員：30人（抽選）  
 内容：手作りで、カップ、豆皿を作ります。  
 費用：2,250円  
 申込方法：往復はがきに、陶芸体験教室と明記し、住所、氏名、電話番号、年齢を記入。  
 10月31日（月）消印有効

実施場所・送付先：  
 〒465-0051  
 名古屋市名東区社が丘3-1206  
 高年大学鯉城学園楽陶館  
 TEL・FAX : 052-701-7211  
 URL : https://kojogakuen.com/rakutou/



陶芸体験室の様子 楽陶館の地図



名古屋市社会福祉協議会 公式 Facebook リニューアルオープンのお知らせ

本会の各種取り組みなどを随時情報発信します。  
 名古屋市社会福祉協議会 公式アカウント ※リニューアルオープンにより URL が変更されています  
 https://www.facebook.com/nagoyashi.shakyo



公式 Facebook

名古屋市総合社会福祉会館40周年と公式 Instagram 開設のお知らせ

本会が指定管理者として運営している、名古屋市総合社会福祉会館は、昭和57年11月1日に開館し、おかげさまで40周年を迎えます。  
 その当時の様子は、本紙「ふれあい名古屋（第1号）」の表紙にて掲載されています。  
 次の50周年に向け、職員一同、心を込めておもてなしをさせていただきますので、今後とも変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。  
 なお、この度、公式 Instagram も開設しましたので、ぜひご覧いただければ幸いです。



公式 Instagram

お問い合わせ 名古屋市社会福祉協議会 総務部  
 TEL : 052-911-3192 FAX : 052-913-8553

## ご寄付・ご寄託・賛助会員のご紹介

### ご寄付ありがとうございました

令和4年6月1日～令和4年8月31日受付分（敬称略、順不同）

#### 福祉基金への寄付

大林 貞典 / 株式会社長谷工エコーポレーション /  
名古屋市役所駿台会 / 匿名8件

#### 市社会福祉協議会への寄付

MT TECHNICAL JAPAN 株式会社・名古屋銀行 / 匿名2件

#### なごや・よりどころサポート基金への寄付

令和4年3月1日～令和4年8月31日受付分（敬称略、順不同）  
名古屋ロータリークラブ / 水谷 颯 / 匿名2件

### 市社協サポーター（賛助会員）のご紹介

令和3年度・令和4年度会員（令和4年8月31日現在）（敬称略、順不同）

仁木 雅子 / 中央法規出版株式会社岐阜営業所 /  
小池 博美 / 渡辺 賢次 / 株式会社マルワ /  
鷺見 修 / 木村 剛 / 株式会社せがわ住機 /  
タック株式会社 / 富田 哲生 / 三谷 洋一 / 北村 泰幸 /  
株式会社サンエネック / 上村 成良 / 永井 瑛資 /  
Kのキンパ / 越俣 加絵 / 水谷 颯 /  
東洋羽毛東海販売株式会社 / 株式会社ウイングス /  
石田 栄美子 / 立松 博 / 株式会社ラングロバル /  
船木 陽子 / 吉田 南 / 柏 大輔 / 佐藤 良喜 / 匿名8件

## ご寄託ありがとうございました

### 使用済切手・書き損じはがき・ベルマーク等（令和4年6月1日～令和4年8月31日受付分） ※敬称略

鳶井株式会社 / 中沢悦子 / 天白まちづくりサポータークラブ / 若松工 / オーネスト希望 /  
地域活動支援センターかけ橋 / 田村富士雄 / 川井孝司 / 服部とみ / 昭興金属株式会社 /  
社会福祉法人八起社 老人ホーム誠和荘 / ハリキッテ友の会 世話人 毛利碩 / どんとクイズ教育研究所 /  
北区消費者クラブ / 名古屋市立桜台高等学校 / 森上昌子 / 朗読グループ花ことば / 高橋孝次 /  
介護老人保健施設 第二ハートフルライブ西城 / 名古屋市信用保証協会 / れんが家サロン /  
千種・東・北・西・昭和・瑞穂・熱田・守山・緑・天白区社会福祉協議会受付分 / 匿名16件

ご寄託いただいた使用済切手等は、次の団体に送付しました。

団体名	活用方法
NPO法人誕生日ありがとう運動本部	知的ハンディキャップ問題の啓発
公益財団法人緑の地球防衛基金	中国榆林市東陽山、タンザニア・キリマンジャロでの植林活動

※使用済切手・書き損じはがき・ベルマークなどの寄付希望がありましたら、名古屋市社会福祉協議会ボランティアセンターまでお届けください。お届けの際は、本広報誌へのお名前掲載の可否及び郵送希望の有無をお知らせください。

## じむきよくちょうのつがやき

社会福祉法の改正により、社会福祉法人には公益的な取組による地域社会への積極的な貢献が期待されるようになり、本会も多くの法人の参加を得て、児童養護施設を出た若者の自立などを支援する「なごや・よりどころサポート事業」を実施しています。社会福祉法人に限らず、グランパスのようなスポーツ団体や企業など、様々な団体に地域貢献の取組が広がっています。団体の意欲や強みを多様な地域課題の解決にいかにも有効に結び付けていくのが、社協職員にも知恵が求められています。



名古屋市社会福祉協議会事務局長 柄澤 克彦



ひとに、ひたむきに。  
社会福祉法人  
名古屋市社会福祉協議会

〒462-8558 名古屋市北区清水四丁目17番1号 名古屋市総合社会福祉会館内

TEL : 052-911-3192 FAX : 052-913-8553

ホームページ : <https://www.nagoya-shakyo.jp/>

E-mail : [nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp](mailto:nagoyaVC@nagoya-shakyo.or.jp)

※この広報紙は福祉基金を活用して作成しています。

※この広報紙は古紙パルプを含む再生紙を使用しています。

※市内社会福祉施設、民生委員・児童委員、大学などへの配布及び公共施設に配架しています。

広報紙「ふれあい名古屋 No.138」 発行日：令和4年10月1日

発行部数：12,000部

